

2-2. 「防災・減災・事前復興」に関する研究

災害に強い地域づくりを目標に、防災に関する研究や地域の脆弱な部分を事前に克服させる事前復興計画に関する研究を、地域と連携して行っています。

2011年3月11年に起こった東日本大震災は、私たちの身近な生活環境から地域・都市において、これまでに気づきにくかった様々な課題を大きく浮き彫りにしました。そのような課題に対して、まずは東日本大震災による被害の状況を捉え、復興に向けた活動や研究が必要とされています。また、大きな被害を受けなかった地域においても、今後予測される災害に対して、災害が起きる前に被害が予測される脆弱な部分を事前に復興するといった「事前復興」の考え方が必要となってきています。

そこで、当研究の枠組みでは防災、復興、および事前復興に関する研究を推進しています。